

スペシャルナイト「オーロラに包まれて」実施報告

西野 藍子*

概要

2022年12月2日(金)～2023年2月26日(日)に投影したプラネタリウム番組「オーロラ」に数多くのオーロラ映像を提供いただいたオーロラ写真家の中垣哲也さんをお迎えし、2023年2月4日(土)、2月5日(日)の2日間にわたり、オーロラに関する様々な特別イベントを開催した。本稿では、中垣哲也さんの特別講演会及びスペシャルナイト「オーロラに包まれて」の実施について報告する。

1. はじめに

2020年2月22日(土)、2月23日(日)の二日間に、中垣 哲也氏をお招きし、日中は特別講演会、夕方は17時からの学芸員スペシャルに特別ゲストとして参加いただくスペシャルイベントを予定していた。しかし残念ながら、当時新型コロナウイルス感染症が拡大し始めた矢先であり、狭い部屋に集まる講演会は中止を余儀なくされた(学芸員スペシャルは、広いプラネタリウムホールだったため、予定通り開催することができた)。

それから3年経ち、新型コロナウイルス感染症もやや落ち着いてきた2023年2月4日(土)、2月5日(日)に、特別講演会とスペシャルナイトを開催した。



図1.館内掲出ポスター

2. 実施概要

この特別講演会及びスペシャルナイトの実施概要を以下に示す。

2-1. 中垣哲也さん特別講演会

①「オーロラをあなたの感性で感じてみよう」

- ・日 時: 2023年2月4日(土) 14:00～15:30
- ・概 要: オーロラ旅行についての秘話、心得、楽しみ方などを紹介。

②「オーロラをカメラのセンサーで撮影しよう」

- ・日 時: 2023年2月5日(日) 14:00～15:30
- ・概 要: オーロラを撮影するにあたって、機材や撮影方法、その他の心得などをお話する。

- ・場 所: 多目的室
- ・対 象: どなたでも
- ・定 員: 各日 50 名 (先着順)
- ・参加費: 無料
- ・申込方法: Google フォームでの申込にて事前予約。

2-2. スペシャルナイト「オーロラに包まれて」

- ・日 時: 2023年2月4日(土)、5日(日)
各日 19:00～20:30 (開場18:30)
- ・場 所: プラネタリウムホール
- ・対 象: どなたでも(おもに大人向け)
- ・料 金: 各日 1,500 円
- ・定 員: 各日 250 名 (事前申込制・先着順)
- ・チケット: チケットカウンター、Webで販売
2023年1月7日(土)より販売開始。
- ・主 催: 大阪市立科学館

*大阪市立科学館 学芸員
nishino@sci-museum.jp

3. 当日のようす

3-1. 中垣哲也さん特別講演会

特別講演会のようすを、以下に写真とともに記す。



写真 1.様々なオーロラを紹介



写真 2.オーロラ爆発のようすを紹介

2/4(土)に開催した講演会「オーロラをあなたの感性で感じてみよう」では、中垣氏が撮影されたオーロラ映像を惜しみなく紹介いただき、オーロラを見に行く時の準備や現地での様子、楽しみ方などを詳しく紹介いただいた。参加者は 31 名だった。



写真 3.現地の自然や野生動物を紹介

2/5(日)に開催した講演会「オーロラをカメラのセンサーで撮影しよう」では、オーロラ映像を惜しみなく紹介いただくとともに、準備する撮影機材の詳細や、撮影の仕方、工夫などを詳しく紹介いただいた。参加者は 23 名だった。



写真 4.オーロラ映像を惜しみなく紹介



写真 5.撮影機材について紹介



写真 6.講演会での中垣氏

3-2. スペシャルナイト「オーロラに包まれて」

2/4(土)の参加者は 211 名、2/5(日)は 101 名だった。当日のようすを、写真とともに(1)～(3)に記す。

・当日のスケジュール:

- 17:00 準備・会場設営、リハ
- 18:30 開場
- 19:00 開演、西野より中垣氏紹介
- 19:02 アラスカ(極北)での太陽の動き、夕暮れ、
星空解説(西野)
- 19:22 中垣氏によるオーロラ映像と音楽
- 20:00 極北でのテント生活、野生動物などについて紹介
(中垣氏と西野によるトーク)
- 20:20 中垣氏によるオーロラ映像と音楽
- 20:30 終演

(1)開演

筆者が開演の挨拶をし、中垣氏の紹介を行った。

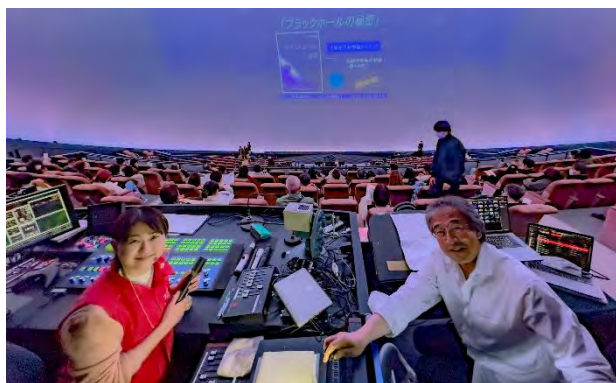


写真 7.開演直前のようす

(2)極北での太陽の動き、夕暮れ、星空解説(西野)

アラスカなどの極北地域では、日本とは日の出、日の入り、太陽高度などがずいぶん異なる。特にイベント当日の2月辺りは極北地域ではほぼ太陽が地平線を這うように動いていく。プラネタリウムで極北の太陽の動き、日の入りの様子を再現し、日本とはまた違った星空についても解説を行った。



写真 8.極北での太陽の動きを紹介。
南中時刻でも、地平線を這うように動くことを紹介。

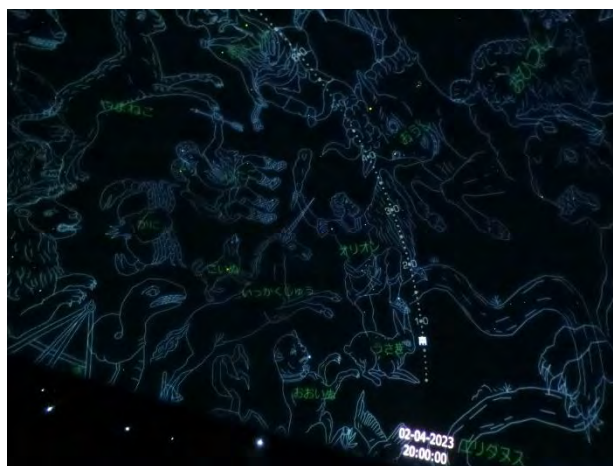


写真 9.極北での星空を紹介

日本よりも高緯度の地域では、見慣れた星座たちも、南の空低くなり、北極星は北の空高くなることを紹介。

(3)中垣氏によるオーロラ映像と音楽、極北の自然

中垣氏より、音楽とともに全天に広がるオーロラを惜しみなく紹介いただき、また極北でのテント生活や野生動物などについて紹介いただいた。筆者は聞き役となり、合間に質問をはさみながらトークを行った。



写真 10.全天に広がるオーロラ映像

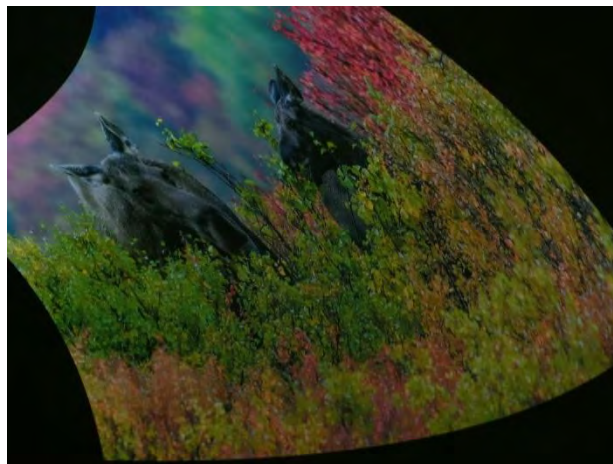


写真 11.極北の動物たち



写真 12. 特別に設けた写真撮影タイム

4. アンケート集計

参加者にアンケートへのご協力をお願いした。その結果、2/4の回答数は68、2/5の回答数は49だった。

アンケート集計結果を以下(1)～(4)に記す。

(1)どこから来たか？

両日とも大阪府内が 80%ほどと、比較的近郊からのお客様が多かった。

(2)どこでこのイベントを知ったか？

当館ホームページ、新聞・テレビ等が多かった。

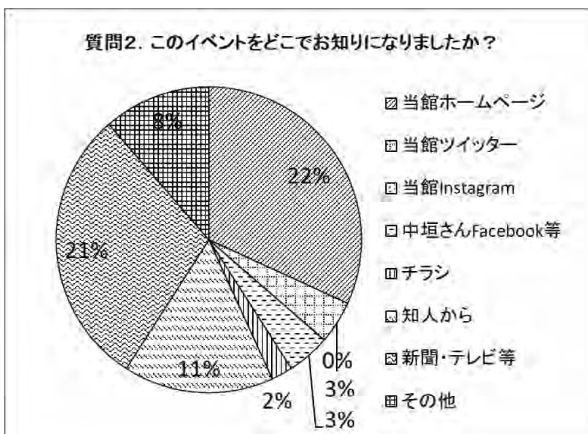
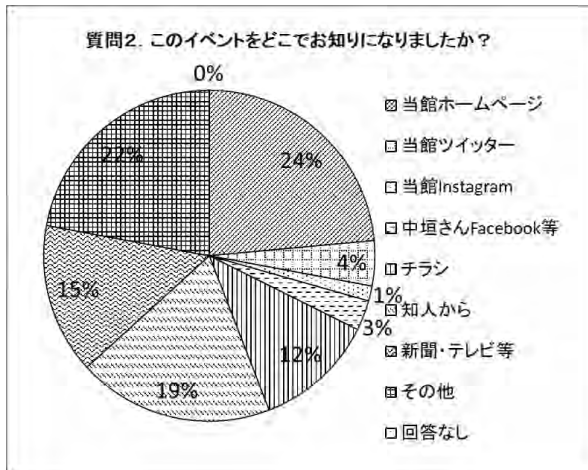


図 2. (上) 2/4、(下) 2/5 の集計結果

(3)満足度

両日とも「とてもよかった」が 9 割以上と、非常に満足していただいたお客様が多かった。

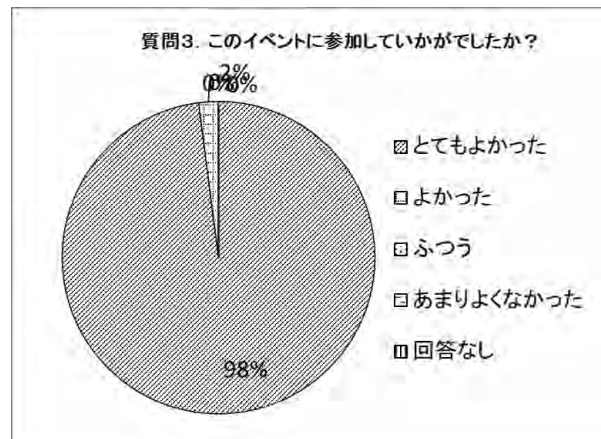
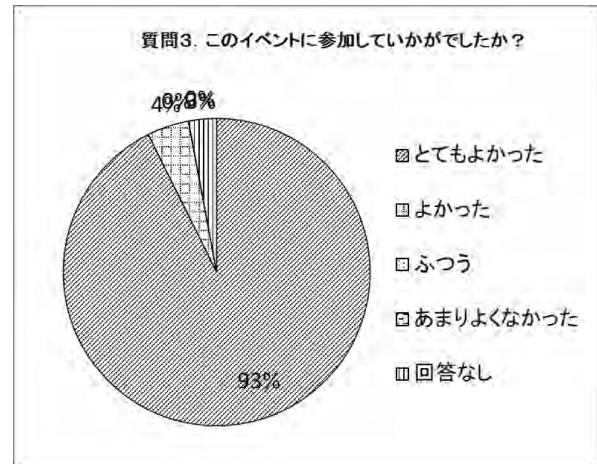


図 3. (上) 2/4、(下) 2/5 の集計結果

(4)年齢

両日とも 10 代から 70 代以上まで、幅広い層にお越しいただいたが、意外と 30 代はいずれも 10%以下と少なめであった。

5. おわりに

特別講演会及びスペシャルナイトの特別イベントを、3 年越しに無事開催することができ、多くの方にご参加いただけたことをありがたく思っている。ただ今回、日曜日のスペシャルナイトの方が、集客が良くなかった。おそらく日曜日の夕方は、家でゆっくりしたいと考える人が多いのだろう。今後 2 日間でイベントを開催する際は、金曜と土曜の 2 日間でも良いかも知れない。

なお、今回の特別講演会及びスペシャルナイトに、多くのオーロラ映像と音楽を提供くださり、本番では、細部までこだわった演出を手掛け、さらに楽しいトークをしてくださった写真家の中垣哲也さんに心から御礼申し上げます。